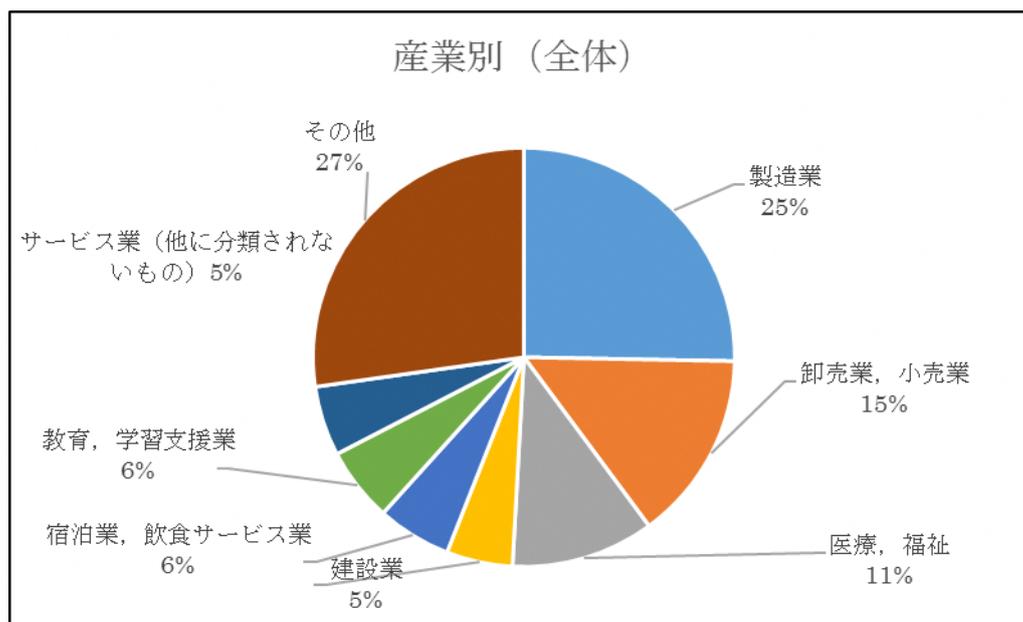


第1章 草津市の就労状況

総務省統計局による平成27年国勢調査の結果から、草津市における労働状況を、産業別、職業別にみると、図1-1、図1-2、図1-3のとおりである。

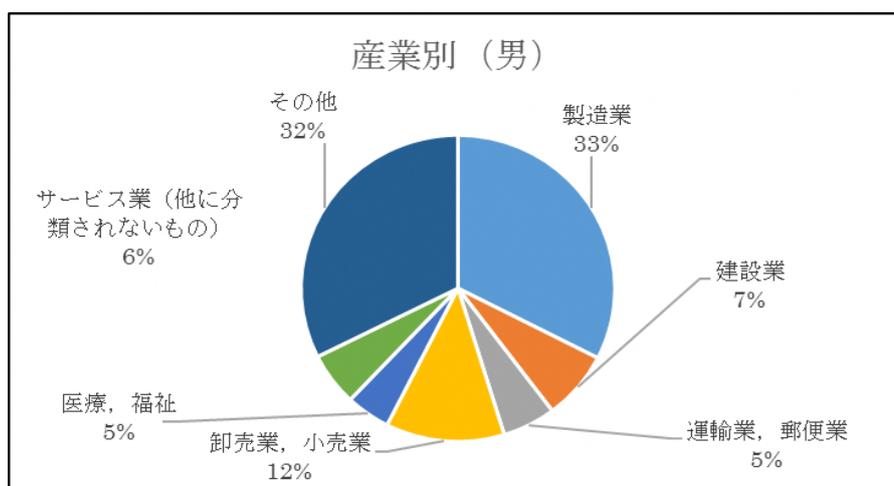
産業別分類で見ると、全体では製造業、卸売業・小売業、医療・福祉の分野で全体の50%を占めており、男女別に比較すると、男性は、製造業と卸売業・小売業、建設業で50%以上を占め、女性は、医療・福祉、製造業、卸売業・小売業で50%を占める。特に特徴的なのは、女性が医療・福祉の分野に最も多く従事していることである。人口10万人あたりの病院数、一般診療所数、歯科診療所数、病床数のいずれも全国平均を下回っている滋賀県において²、草津市は、近隣に大学病院をはじめとする総合病院や診療所が多く存在していることが影響しているものと考えられる。



出所：国勢調査（2015）

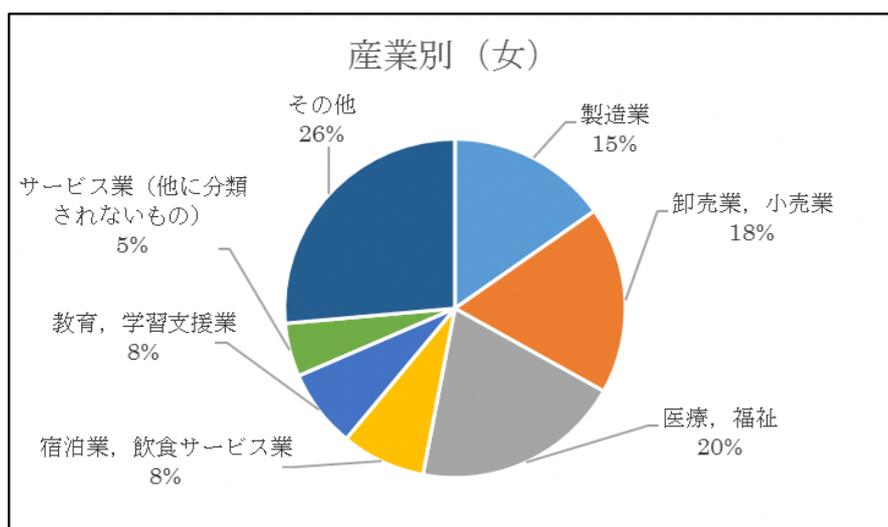
図1-1 草津市産業別就労率

² JMAP 地域医療情報システム（2019.1.閲覧）



出所：国勢調査 (2015)

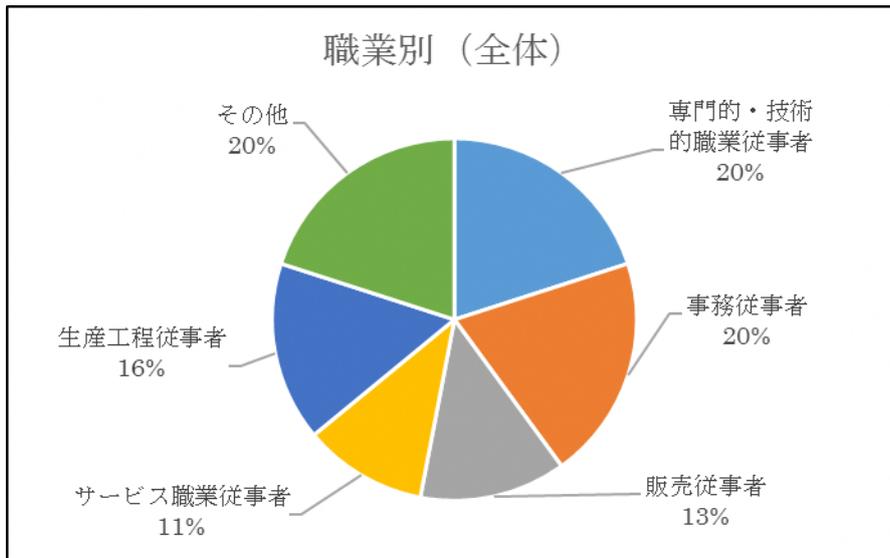
図 1-2 草津市産業別就労率 (男性)



出所：国勢調査 (2015)

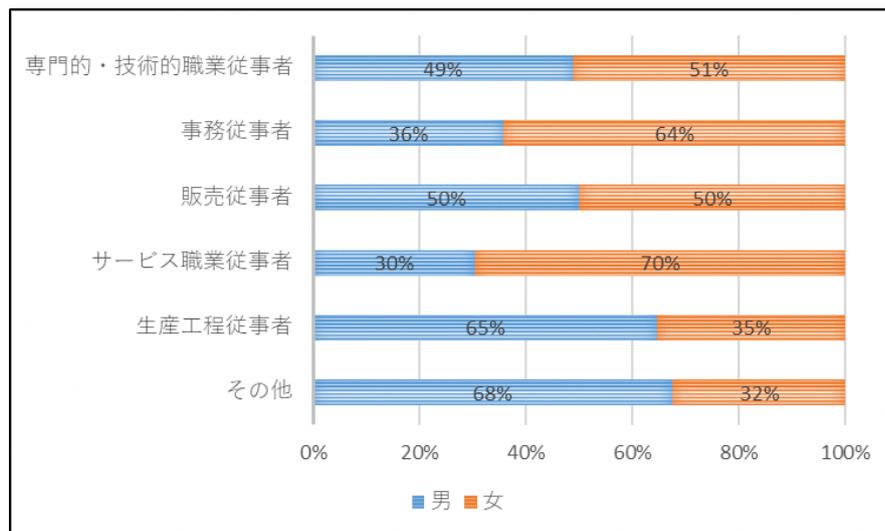
図 1-3 草津市産業別就労率 (女性)

職業別にみると、専門的・技術的職業従事者、事務従事者の割合がともに 20%と多く、次いで、生産工程従事者、販売従事者、サービス職業従事者となっている(図 1-4)。特徴的なことは、専門的・技術的職業従事者が、国 (15.9%) や県 (16.2%) の平均より割合が高く、また、男女比率で比較すると、専門的・技術的職業従事者の割合がほぼ同じであり、事務従事者やサービス職業従事者は女性の比率が高く、生産工程従事者は男性の比率が高いことである(図 1-5)。



出所：国勢調査 (2015)

図 1-4 草津市職業別就労率



出所：国勢調査 (2015)

図 1-5 草津市職業別就労率 (男女比)

このことは、草津市の就労状況としては、製造業、卸売業・小売業、医療・福祉の分野において、専門的・技術的職業従事者が多いことがうかがえる。

草津市におけるこのような人材を、地域活動ではその経験や能力を生かす形で、活発化していくことが必要となる。